

2024年9月24日

各位

SBIホールディングス株式会社
株式会社新日本科学

SBIホールディングス株式会社と株式会社新日本科学による 共同ファンド設立に関するお知らせ

SBIホールディングス株式会社（本社 東京都港区、代表取締役会長兼社長：北尾吉孝、以下「SBIホールディングス」といい、その連結子会社等をあわせて「SBIグループ」といいます。）と株式会社新日本科学（本社 鹿児島県鹿児島市、代表取締役会長兼社長：永田良一、以下「SNBL」といい、その連結子会社等をあわせて「SNBLグループ」といいます。）は、このたび、北米におけるアーリーステージのスタートアップ企業を対象とした共同ファンドを設立いたしましたのでお知らせいたします。

1. 共同ファンド設立の背景と目的

今回の共同ファンド設立は、SBIグループとSNBLグループが持つ豊富な知識と経験を活かし、北米におけるアーリーステージのスタートアップ企業を対象とした投資による資金供給を目的としています。両社は既に米国におけるビジネスインキュベーション事業に関する業務提携を2024年7月31日に発表しており、この共同ファンドはその一環として、早期の段階から有望な企業への資金供給を行うことを目指しています。

2. 共同ファンドの概要

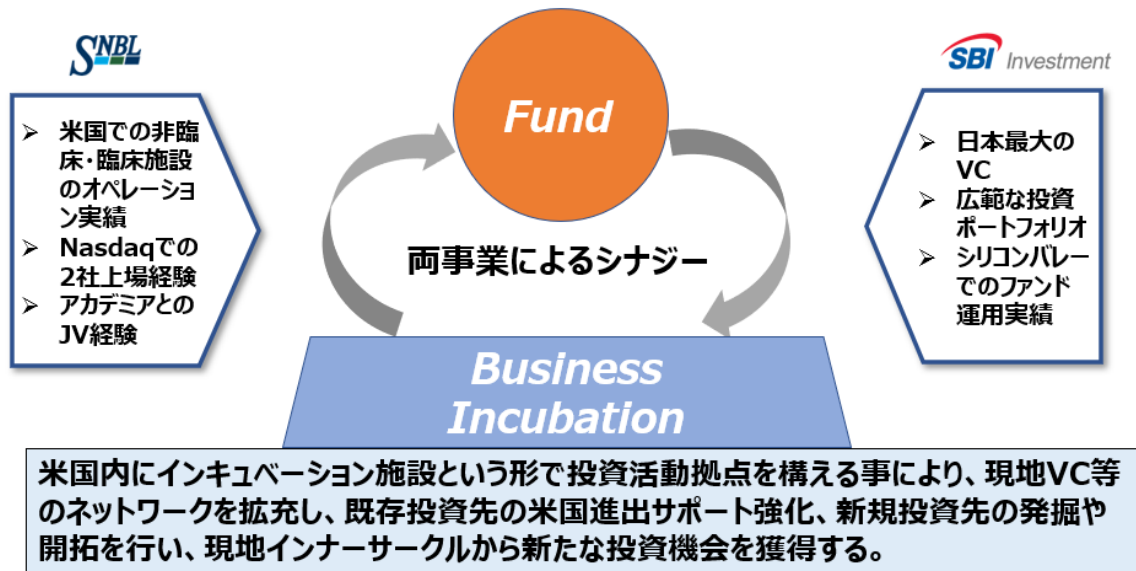
名称	SBI US Gateway Fund
ファンド規模	40百万米ドル
投資対象	主に北米のアーリーステージのスタートアップ企業
対象事業領域	AI、Advanced Manufacturing、Climate Tech、Supply Chain などに加えて、バイオテクノロジーおよび創薬関連を含む Healthcare 領域など、今後の成長産業と見込まれる幅広い領域の革新的技術・サービス
投資地域	北米
ファンドの特徴	共同ファンドからの投資先企業への資金提供とともに、研究開発支援や事業成長のためのサポートを行うビジネスインキュベーション事業と協業して投資先企業の成長を支援する機能を有する

3. 共同ファンド設立による期待効果

米国ワシントン州にあるビジネスインキュベーション施設を投資拠点として活動することで、現地投資家とのネットワークを拡充し、新規投資先の発掘や開拓を行い、現地インナーサークルから新たな投資機会の獲得が可能となります。ビジネスインキュベーション事業と本共同ファンドとのシナジ

一創出により、投資先企業のバリューアップおよびファンドパフォーマンスの最大化を目指します。

【米国ビジネスインキュベーションとファンドのシナジーについて】



4. 今後の展望

今後、SBIグループとSNBLグループは、共同ファンド設立後も引き続き、米国市場における新たなビジネスチャンスの発掘に努め、次世代の産業育成および世界的なバイオテクノロジー・創薬エコシステムの発展に積極的に貢献してまいります。

5. 両社の概要

名称	SBIホールディングス株式会社
所在地	東京都港区六本木一丁目6番1号
代表者の役職・氏名	代表取締役会長兼社長 北尾 吉孝
事業内容	株式等の保有を通じた企業グループの統括・運営等
資本金	180,400 百万円 (2024年3月31日現在)
設立年月日	1999年7月8日

名称	株式会社新日本科学
所在地	鹿児島県鹿児島市宮之浦町2438
代表者の役職・氏名	代表取締役会長兼社長 永田 良一
事業内容	医薬品開発受託 (CRO) 事業、トランスレーショナルリサーチ (TR) 事業、メディポリス事業
資本金	9,679 百万円 (2024年3月31日現在)
設立年月日	1973年5月18日



6. 業績への影響

本件における SNBL および SBI ホールディングスの連結業績への影響は軽微であると見込んでおりますが、中長期的に両社の業績および企業価値の向上に資するものと考えております。

以上

本プレスリリースに関するお問い合わせ先：

SBI ホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126

株式会社新日本科学 IR 広報統括部 岩田 俊幸 03-5565-6216 (IR 広報) ir@snbl.com